



各位

2025 年 6 月 16 日  
株式会社トランスジェニック

**「rasH2 マウスを用いた短期発がん性試験」受託開始に関するお知らせ  
及び**

**「中期発がん性試験」受託拡張に関するお知らせ**

1. 「rasH2 マウスを用いた短期発がん性試験」の受託開始について

かねてより準備を進めてまいりました「rasH2 マウスを用いた短期発がん性試験」について、受託を開始いたしました。

本試験は、ICH S1B(R1)ガイドラインに準拠した短期間(26 週間)での発がん性評価を可能とするもので、従来の 2 年間発がん性試験に代わる代替法試験として注目されています。

当社は、受託開始に先立ち、rasH2 マウスの背景データ整備、データ評価の体制強化などを進めてまいりました。そしてこの度、国内外の製薬メーカー等からのご要望に迅速に対応できる体制を整えました。

当面は、ICHガイドラインに則った標準的なプロトコールに基づき、医薬品候補化合物を対象とした評価を実施してまいります。なお、今後は経口投与以外の投与ルートでの実施<sup>注)</sup>も展開予定です。加えて、この短期発がん性試験の受託開始は、当社のジェノミクス事業で培った知識や経験を基にした muta マウスを用いた TGR 試験や中期発がん性試験と併せ、さらに今後のバイオインフォマティクスを利用した「がん原性評価の重み付け(WoE)」の取り組みも盛り込んでゆくことで、お客様の新たな新薬開発に寄与できるものと考えています。

<sup>注)</sup> 2025 年 7 月の第 52 回日本毒性学会学術年会でポスター発表をいたします。

表題:『経皮投与による DMBA の Tg-rasH2 マウス 26 週間発がん性試験』

## 2.「中期発がん性試験」受託拡張について

2024 年より受託を開始しました「中期皮膚発がん性試験」に加え「ラットを用いた中期大腸発がん性試験」の背景データが整い、受託を開始いたしました。今後マウスを用いたモデルについても背景データ取得試験を先行させていくことで、準備期間を短縮し、委託者の方々に早期にサービスを提供させていただくことを可能にいたしました。なお、遺伝子改変動物を用いた「短・中期発がん性試験」の実施も展開予定です。

詳細につきましては、事業部までお問い合わせください。

 [zigyo@transgenic.co.jp](mailto:zigyo@transgenic.co.jp)